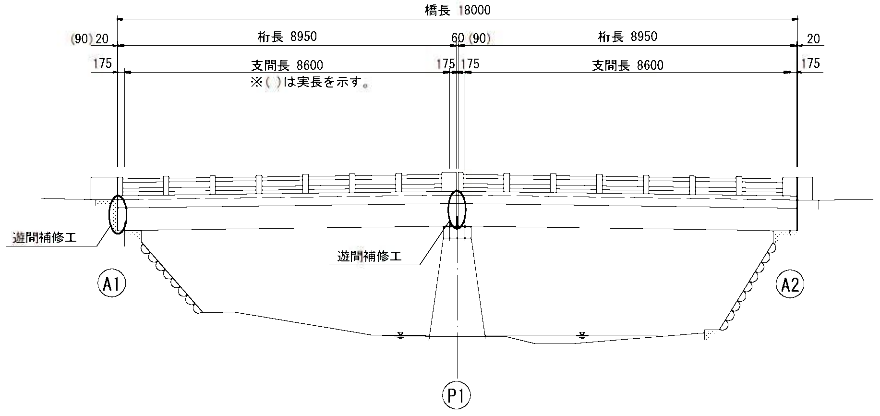
猪尻橋 修繕工一般図

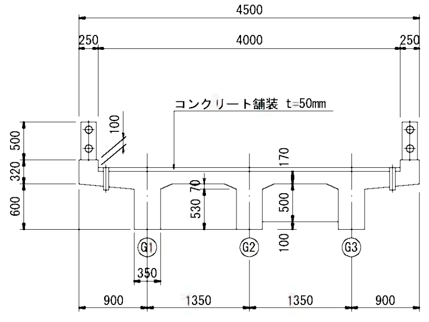
側　面　図

S=1:100



断　面　図

S=1:50

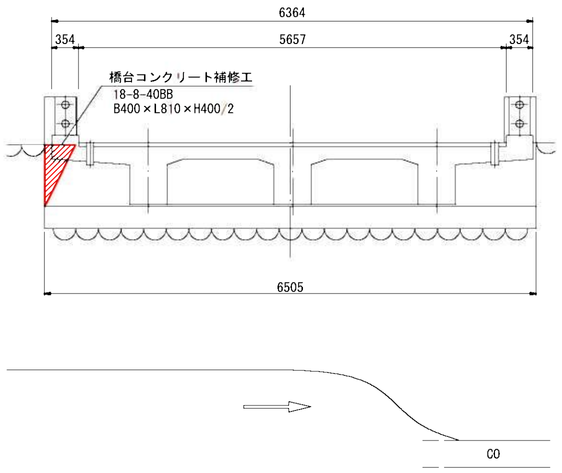


支 点 部　　中 間 部

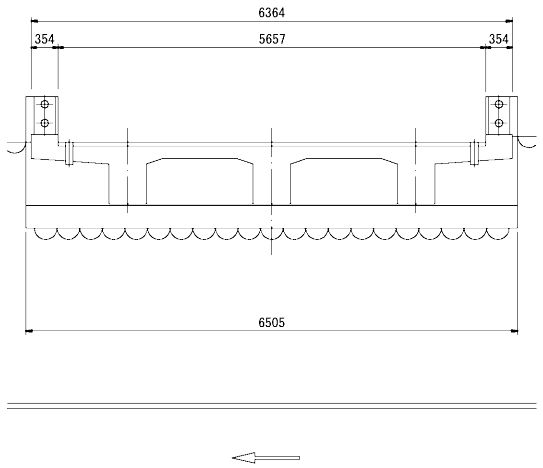
橋台正面図

S=1:50

A1橋台



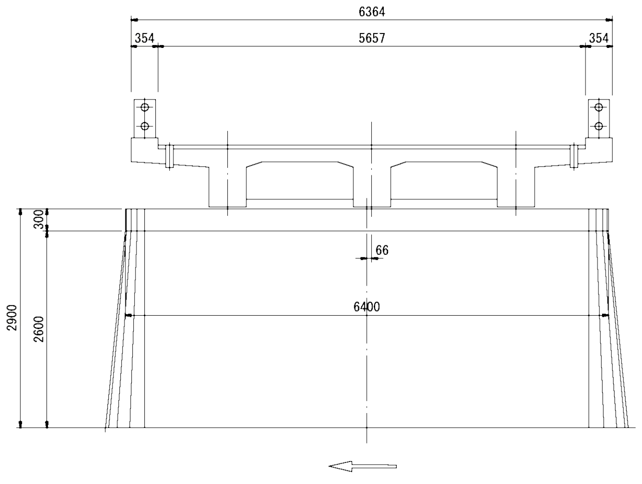
A2橋台



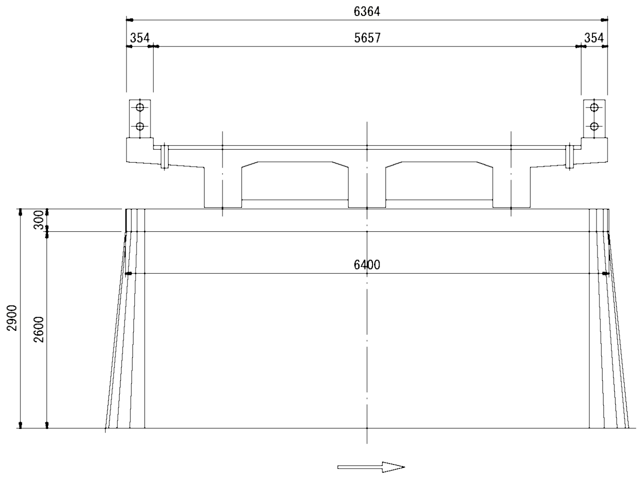
橋脚正面図

S=1:50

P1橋脚(A1側)



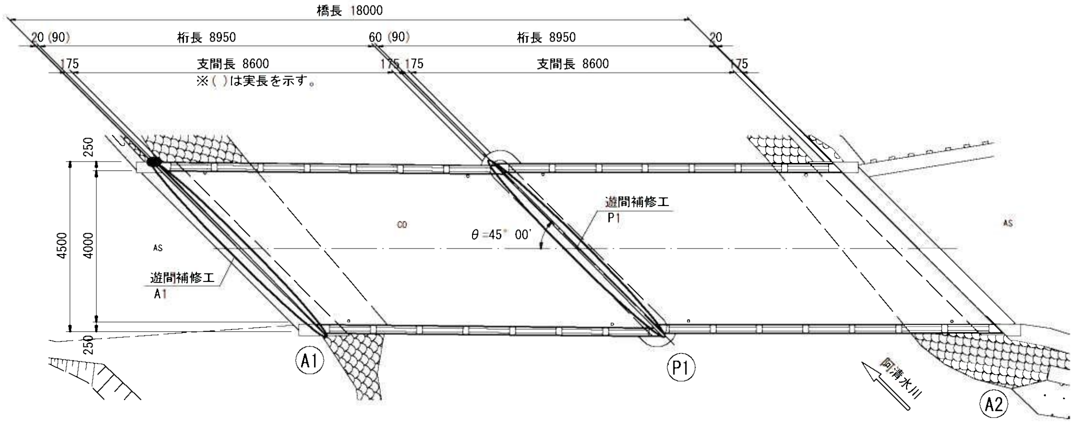
P1橋脚(A2側)



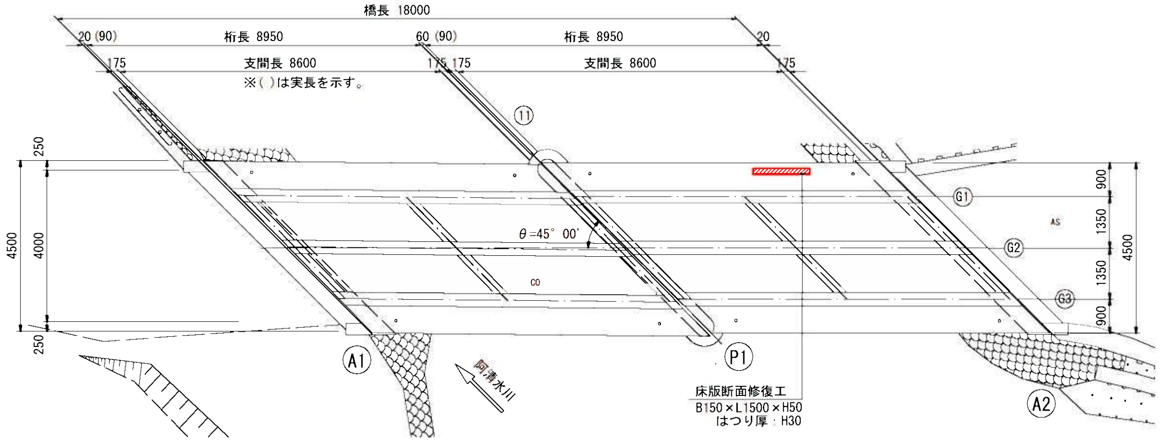
平　面　図

S=1:100

上面



下面



設計条件

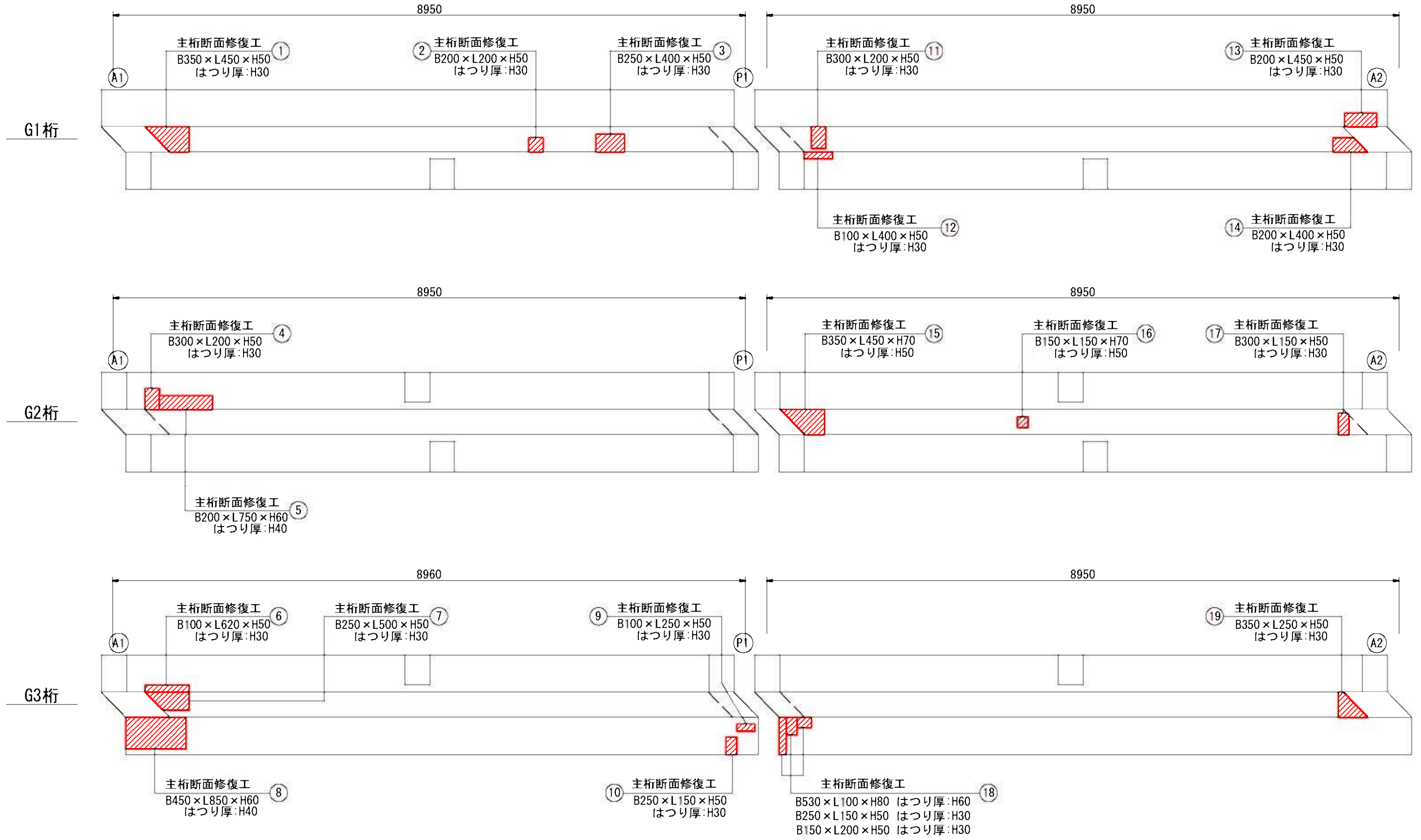
上部工	橋　格	2等橋(TL-14)
	上部工形式	2径間単純RCT桁
	橋　長	18.000m
	桁　長	8.950m+8.950m
	支 間 長	8.600m+8.600m
	全 幅 員	4.500m
	有効幅員	4.000m
	斜　角	θ=45° 00′
	床　版	鉄筋コンクリート床版
	舗　装	コンクリート舗装
	支　承	−
下部工	橋　台	枕 式
	橋　脚	逆T小判形
	基　礎	直接基礎

工事名	市道鹿高8号線（猪尻橋）橋梁補修工事		
図面名	修繕工一般図		
尺度	図　示	図面番号	1
	名　張　市		

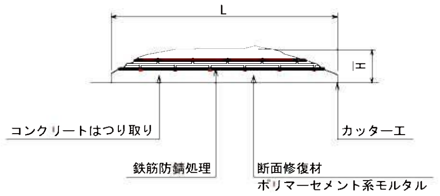
修繕工詳細図(1)

主桁展開図

S=1:50



断面修復工詳細図

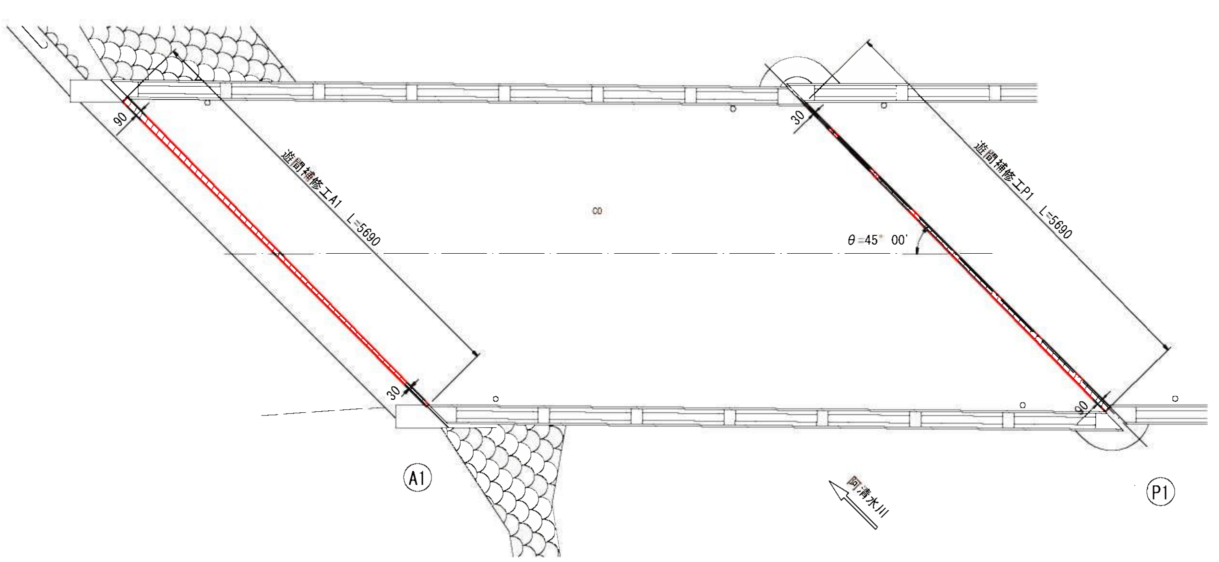


※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
　なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
　施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
　なお、断面修復部の最小かぶり(純かぶり)は30mmを確保すること。
※ 鉄筋防錆処理について
　カップワイヤー同等以上で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
　防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

遊間補修工

平　面　図

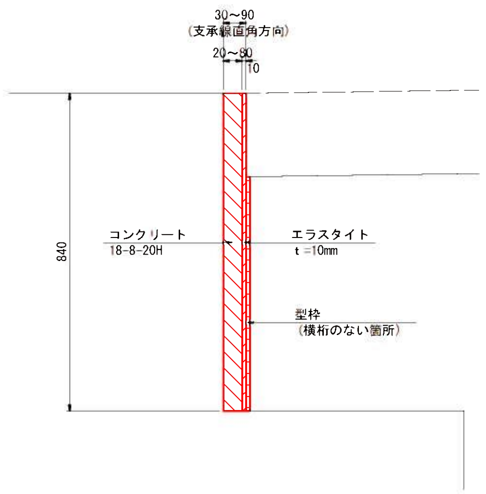
S=1:50



断　面　図

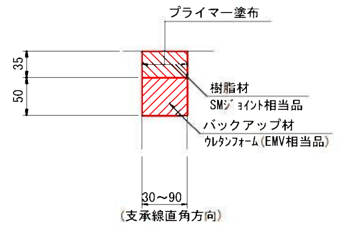
A1橋台

L=5.69m S=1:10



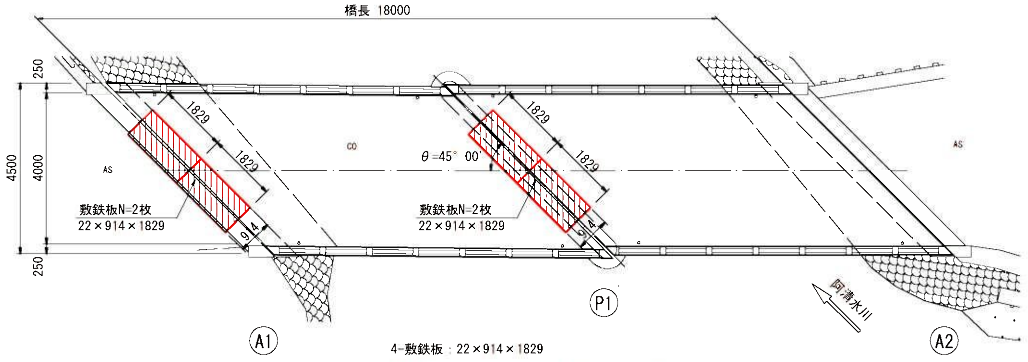
P1橋脚

L=5.69m S=1:5



敷鉄板設置撤去工

S=1:100



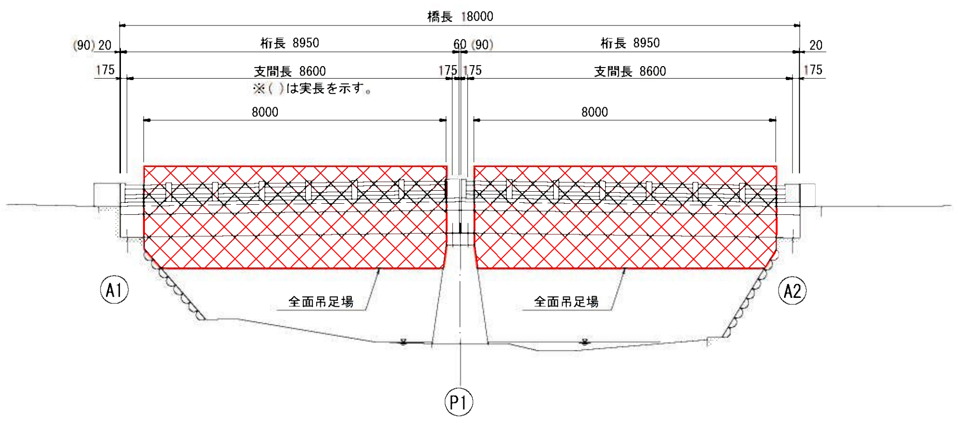
4-敷鉄板：22×914×1829
※遊間補修工完了するまでの間、敷き鉄板にて養生すること。

工事名	市道鹿高8号線（猪尻橋）橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
尺度	図　示	図面番号	2
	名　張　市		

仮設足場工 参考図

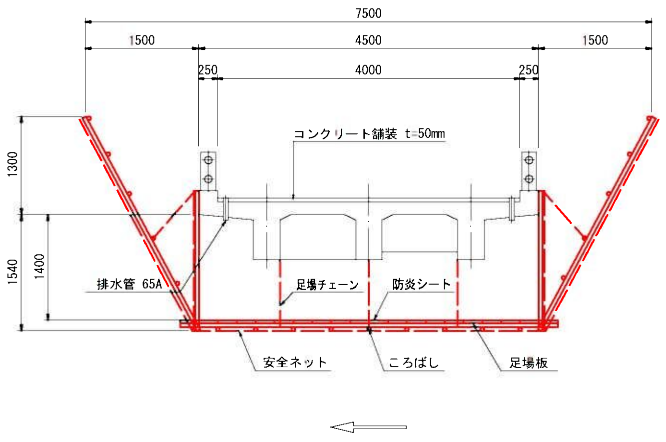
側　面　図

S=1:100



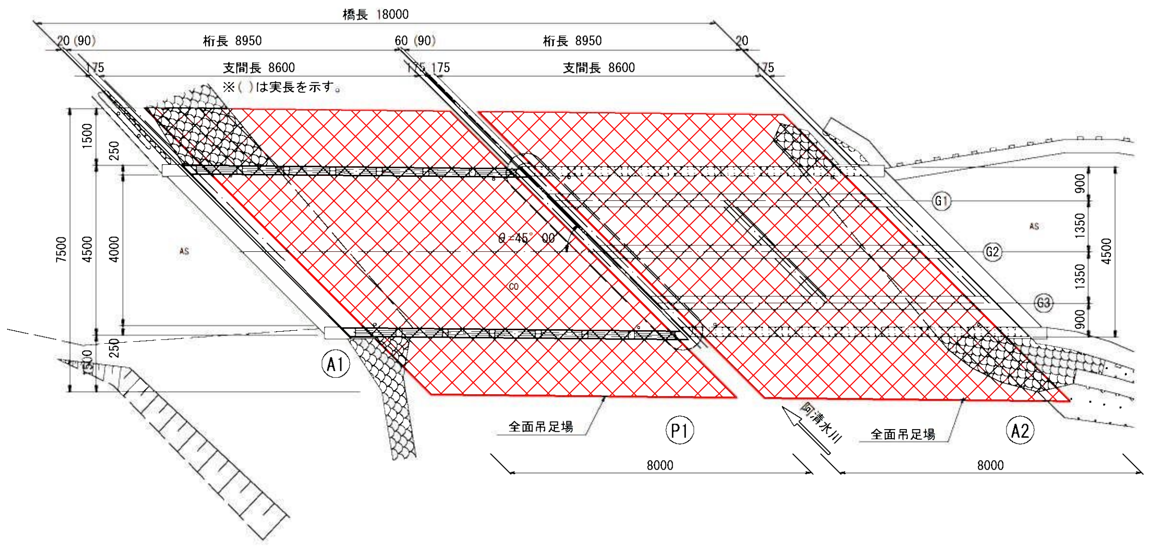
断　面　図

S=1:50



平　面　図

S=1:100



工事名	市道鹿高8号線（猪尻橋）橋梁補修工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
尺度	図　示	図面番号	3
	名　張　市		